

ひろしま版ネウボラの実組状況について

1 要旨・目的

子育てに関する不安や負担を軽減し、子供を希望する人が安心して妊娠・出産・子育てできる環境整備に向けて、子供と家庭に関する切れ目ない支援の仕組みである「ひろしま版ネウボラ」の構築に向けた取組を進めており、令和3年度の実組の評価検証結果を報告する。

2 現状・背景

年度	これまでの経緯・取組内容
平成29年度～	モデル市町での取組を開始
令和元年度	モデル市町での取組を踏まえ「ひろしま版ネウボラ」基本型を整理
令和2年度	基本型のうち「完全な全数把握」「関係機関連携」を重点的取組に決定
令和3年度	「ひろしま版ネウボラ」の理念の再整理及び評価検証の実施

- 令和4年度における「ひろしま版ネウボラ」の実施市町は、令和3年度から4市町増加し17市町となっており、令和11年度までに全市町で実施されることを目指している。
- 「ひろしま版ネウボラ」の全県展開にあたっては、その理念や機能を市町や県民に浸透させるとともに、取組の評価検証を実施し、市町における取組の改善・強化につなげる必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県内市町、県民（主に就学前の子供を育てる保護者）

(2) 取組内容

「ひろしま版ネウボラ」の実組が「子育てに対する安心感の醸成」につながっているかを検証し、市町における取組の改善・強化につなげるため、令和3年度から重点的に取り組んでいる取組ごとに指標を設定し、市町からデータを収集し、モニタリングを行っている。（下記（5）参照）

(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県・令和4年度）

104,730千円

(5) 事業効果・検証結果の主なもの（令和3年度）

ア 完全な全数把握（アプローチ率100%）の実施

【指標】面談対象者のうち、状況を把握することができた人数の割合（令和4年6月末現在）

コンタクトタイミング	令和3年度	
	全数把握率	(参考) 自主的面談参加率
母子手帳交付	100%	99.5%
乳児家庭全戸訪問	99.9%	93.7%
乳児前期健診（4か月頃）	99.6%	90.1%
1歳6か月児健診	99.2%	87.4%
3歳児健診	98.5%	88.0%

【結果】市町職員の働きかけ（個別のアプローチ）などにより、前半3回のコンタクトタイミングにおいてほぼ100%の状況把握ができている。その他のコンタクトタイミングについても、今後上昇する見込み。

イ 関係機関との連携

【指標】定期面談時にリスク有となった家庭のうち事前に関係機関から情報提供を受けていた家庭の割合

令和3年度	市町平均	19.5%
(参考) 令和3年度第1・2四半期	市町平均	15.8%

【結果】関係機関との連携率は自治体ごとに様々であるが、関係機関連携が機能している市町の取組を横展開するなどにより、今後この数値が上昇するよう取り組む。

ウ 担当者明示～担当者による継続した面談

【指標】自身の担当者を認識している者の割合

令和3年度	三次市・海田町の平均	72.1%
	その他の市町の平均	53.1%

【結果】同じ担当者が継続して面談している三次市・海田町では、他の市町より担当者を認識している割合が高い。

(6) 今後の対応

- 検証結果をネウボラ実施市町と共有し、市町におけるネウボラ業務の改善・強化を図る。
- 「ひろしま版ネウボラ」基本型の更なるブラッシュアップに向け、ネウボラ実施市町の協力のもと、引き続き評価検証を行うとともに、人材育成研修も継続して行う。
- 全県展開に向け、「ひろしま版ネウボラ」の取組の成果を見える化した上で、未実施の市町に対して対話と伴走型支援を行っていく。